

## 平成 26 年度 1 学年先端技術産業研修のまとめ

SSH 情報担当者

本年度も先端技術産業研修の折に企業の方から大変好意的なご意見を頂戴し、生徒は勿論のこと学校にとっても地域とのつながりを強めるよい機会となった。昨年よりも実験を実施していただいた企業が多く、生徒にとっても地元企業のすばらしさや日本の科学技術のレベルの高さを実感することができたことは、大きな収穫であった。

まとめとしてすべての班のポスターを校内に展示したが、本年度は昨年先輩の作品をモデルとして提示できたこともあり、昨年よりもレベルが上がっている。職員からの好評もあり、生徒の自信に繋がったと思う。本年度 10 月からタブレット端末と電子黒板が導入され、先端技術産業研修のグループ別の探究活動において、グループ内でのコミュニケーションの折りに、タブレット端末が大変に有効であった。実施後のアンケート調査集計結果では、約 91% の生徒が、「大変良かった」「良かった」と答え、約 87% の生徒が、興味関心を持ち、約 79% の生徒が理解することができた。(参考資料参照)

また、班毎に先端技術産業研修を通じて学んだことを発表し、相互評価を行った。評価の高かった 3 班を学年の代表として、翌年 2 月の 2 年 SSH コースの課題研究発表会の折に、高校 1・2 年と附属中学校の生徒全員の前で発表を行い好評を得ることができた。

(参考資料)

### 1 学年先端技術産業研修(11 月 6 日実施)アンケート集計結果

